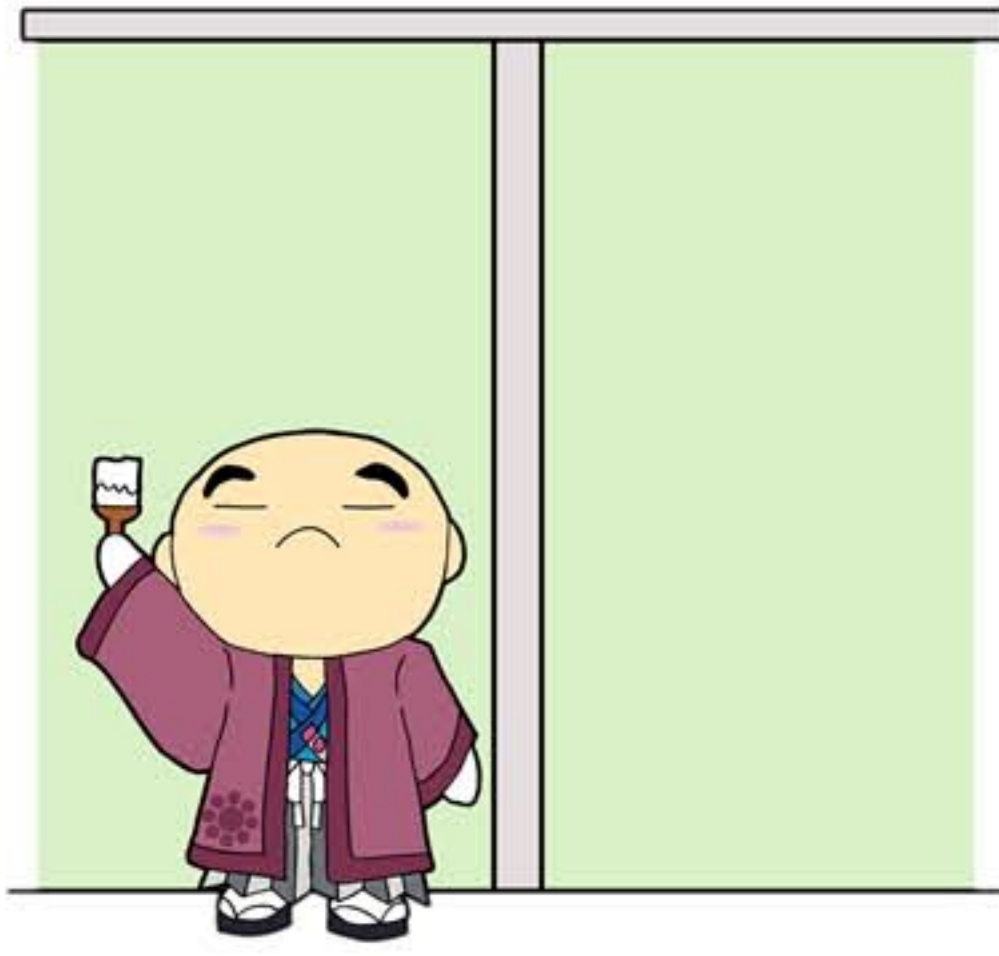


① 材料・道具をそろえる



【道具】
ローラー、ローラーバケット、
はけ、マスキングテープ、
布コロナマスク

【材料】
シェルペイント
水性シーラー(白色)

【塗装の前に】

・ビニール壁紙の上に塗装可能ですので、壁紙はなるべく剥がさない方が作業は楽です。壁紙を剥がすと下地の凸凹を直す手間が増えますのでできるだけ壁紙は補修してから塗装しましょう。

・塗装する時は汚れても良い服装で塗装して下さい。

・必ず手袋をしてから塗装して下さい。

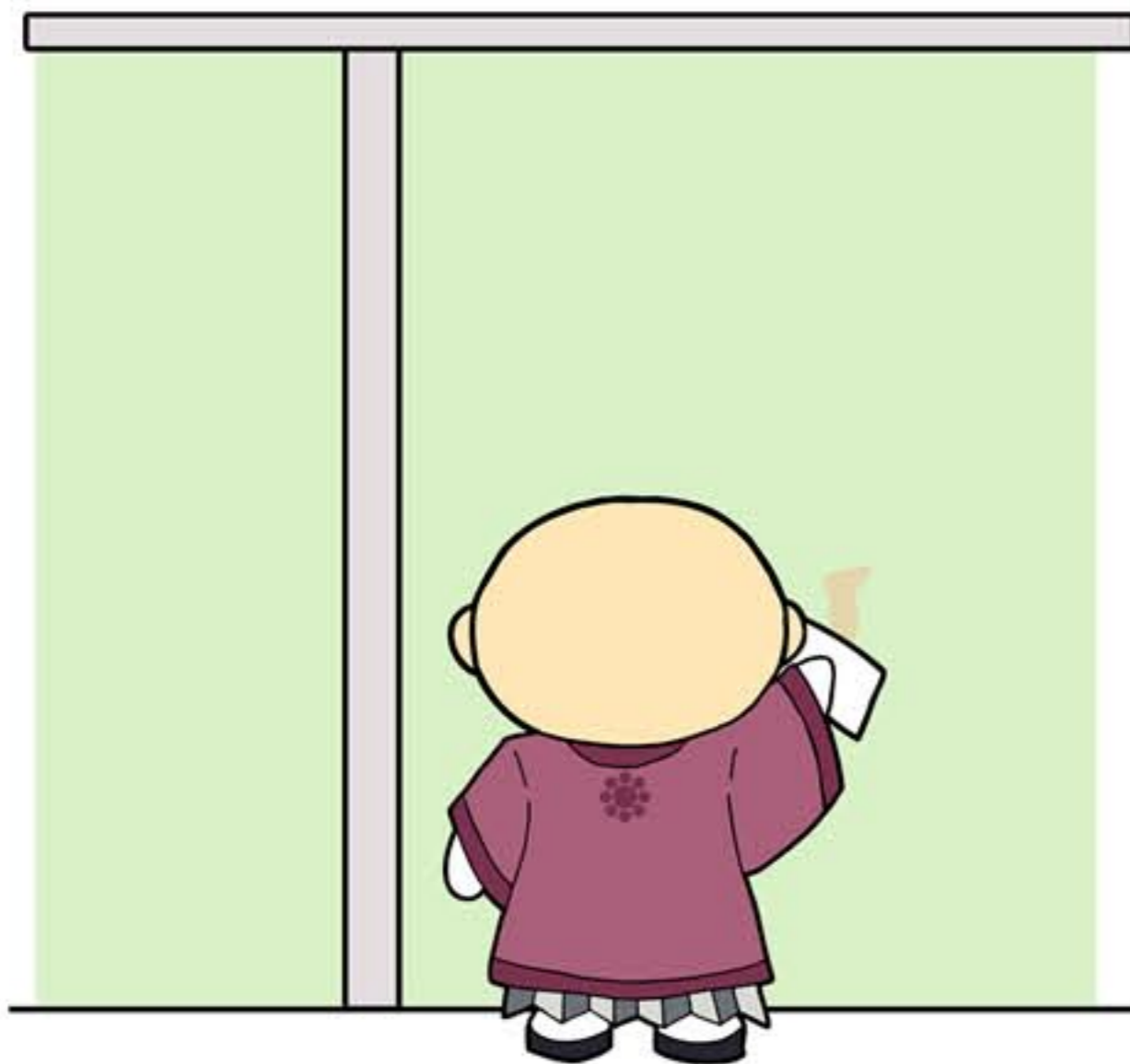
② 壁の汚れを落とす

・一見キレイに見える壁でも、たばこのヤニやホコリ、脂分等の汚れが付着しています。

・壁に汚れがついたままだと、上に塗料を重ねてもきちんと密着せず、キレイに仕上がりません。

・最初に「はたき」や「ほうき」で壁のホコリを落としてください。ビニール壁紙や化粧板の場合は、中性洗剤を使って全面を一度キレイに拭き掃除してから、作業を始めます。

(砂壁や繊維壁は水拭きすると剥がれるので拭き掃除はおこなわない事)



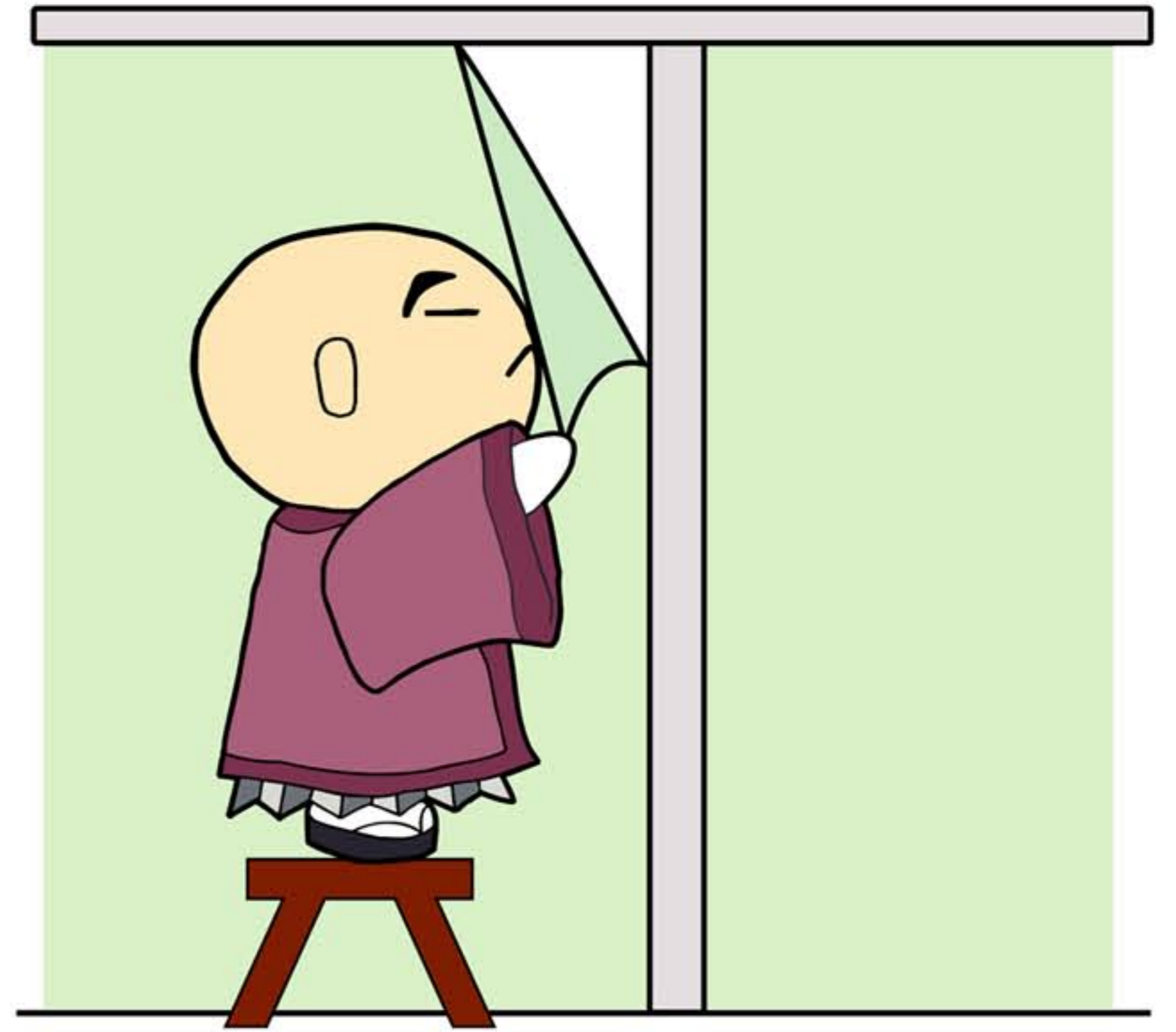
・壁についたカビは綺麗に落として下さい。

・天井を塗装する場合も壁と同じように綺麗に掃除してください。

③ 壁紙のめくれを直す

・浮いたり、剥がれている壁紙は剥がさずに壁紙用糊や木工用ボンドで貼り直してください。

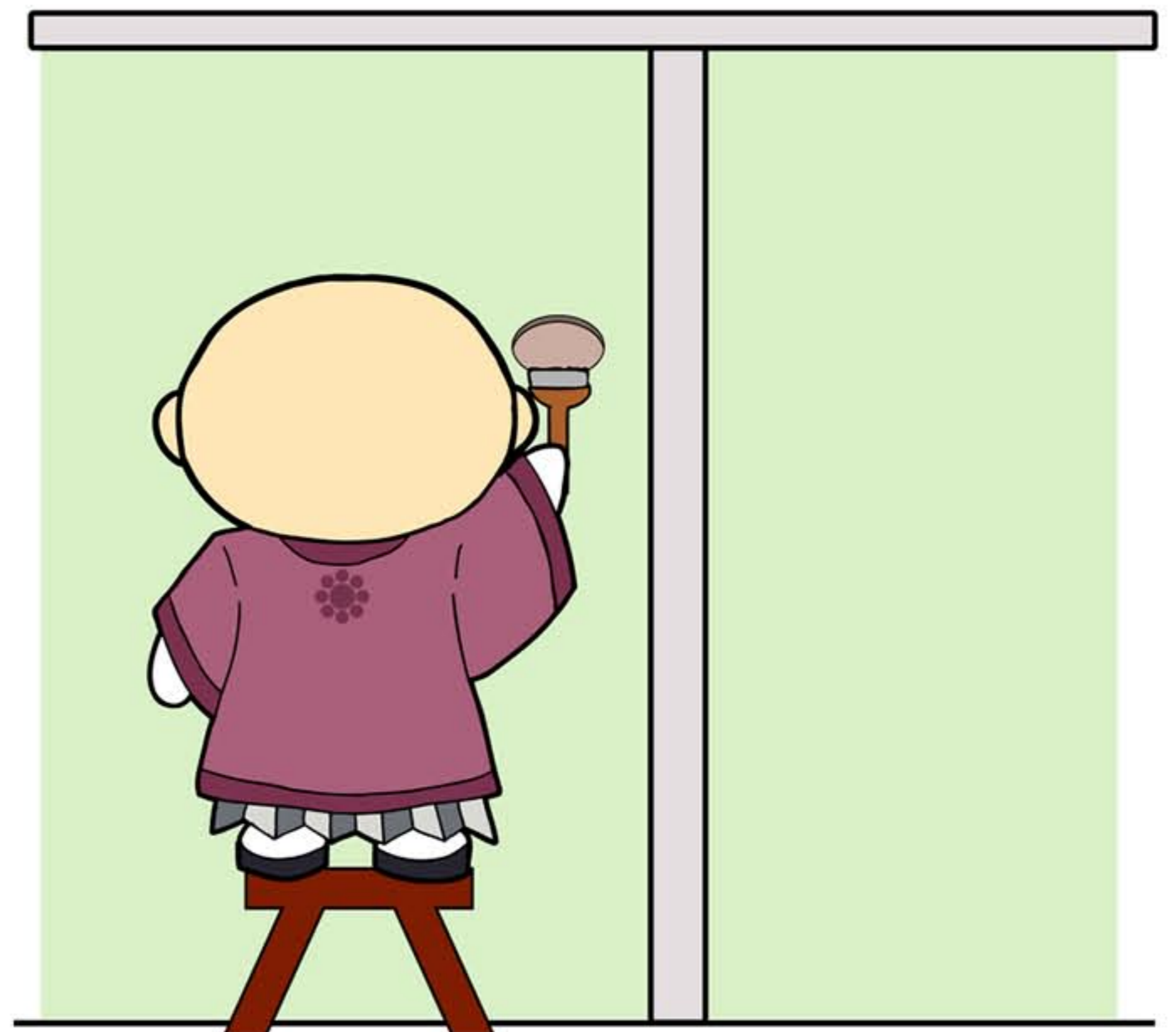
・ビニール壁紙の場合は剥がさずに、補修してから塗装する方が綺麗に仕上がります。



④ 壁を補修する

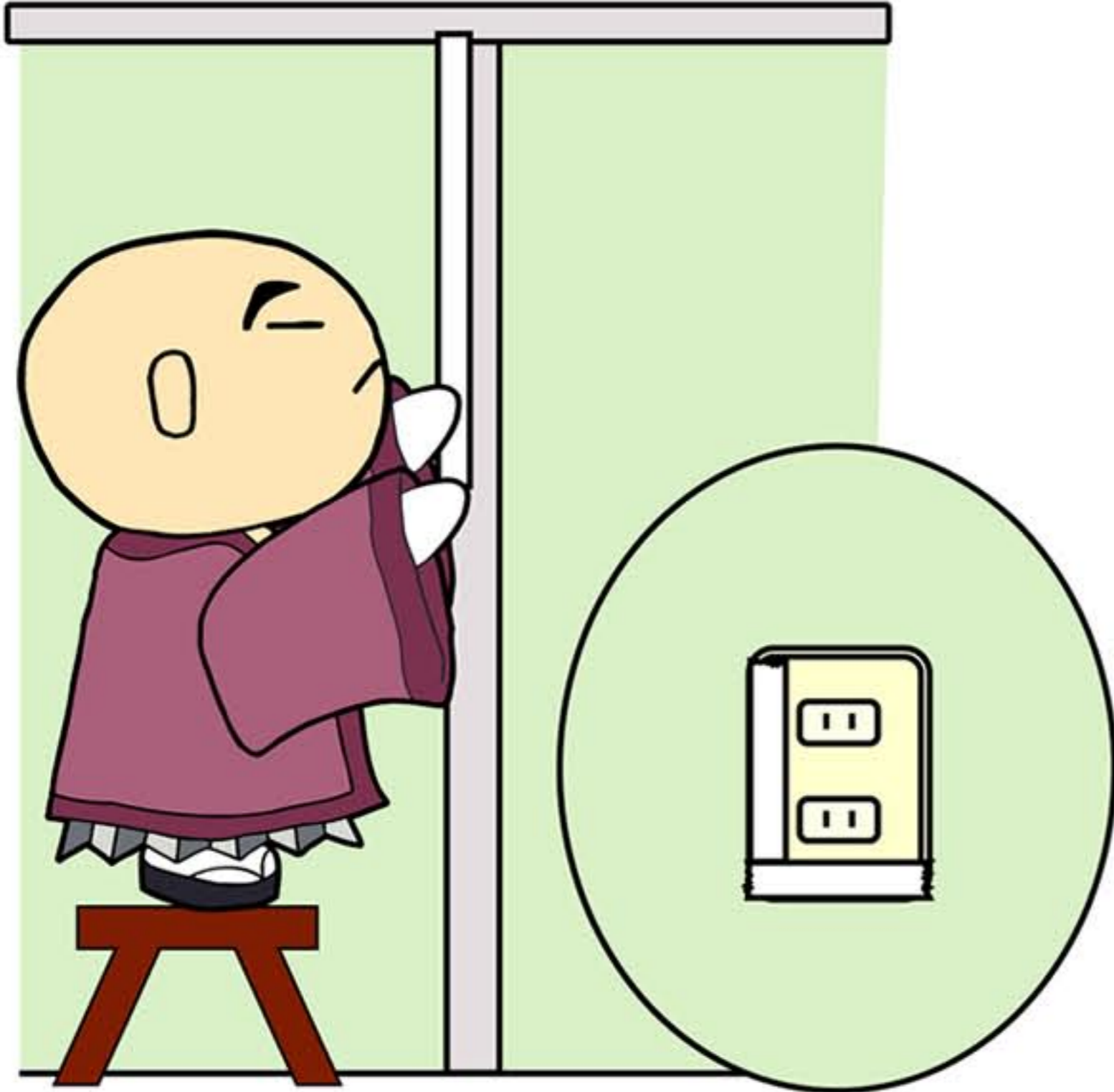
・穴の開いた壁や猫の爪研ぎの跡などはパテで補修し、紙やすりで平にして下さい。

・部分的に壁紙を貼り直す方法もあります。



⑤ 養生をする

・塗装したくない部分
(スイッチ・柱・巾木・窓枠・床など)をマスキングテープや布コ罗纳マスキングテープ、新聞紙やビニールシートで覆ってペンキが付着しないようにします。



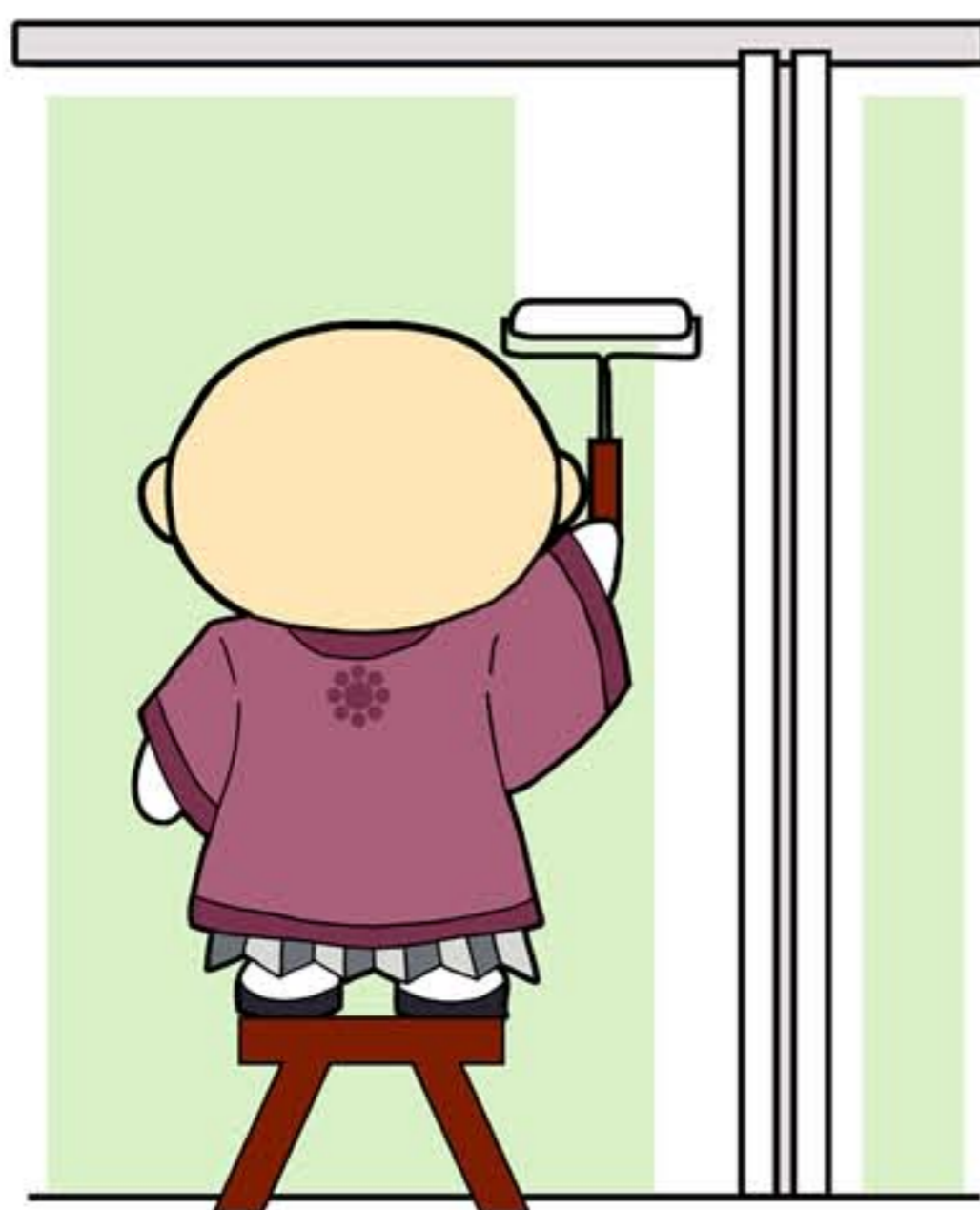
⑥ シーラーを塗る ※一番重要な行程です

・一番重要な行程です。最初は仕上がりを気にせずシーラーを壁全面に塗って下さい。

・塗りおえた後に、塗り残しがないかチェックして、塗り残しや汚れが目立つ部分などあれば重点的に上塗りをしてください。

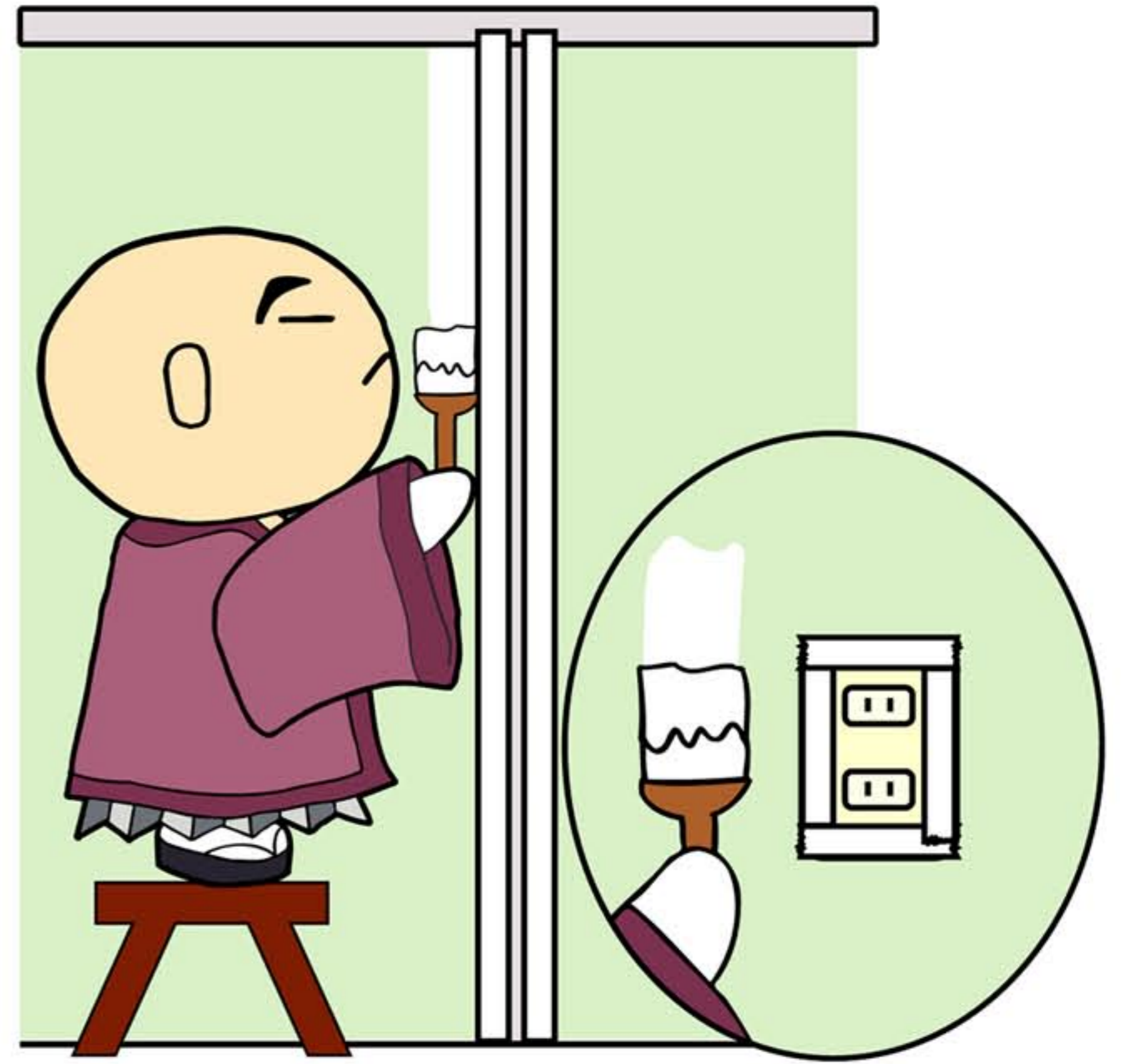
・絵を描くときは真っ白な紙に書いた方が綺麗に描けるのと同じで塗装も綺麗な壁に塗る方が綺麗に仕上がります。

・シーラーが余るようでしたら全て使い切る気持ちで、できるだけ壁を白く綺麗にしてください。



⑦ 塗りにくい部分

・ローラーで塗りにくい部分はハケを使って丁寧に塗って下さい。



⑧ 一休み

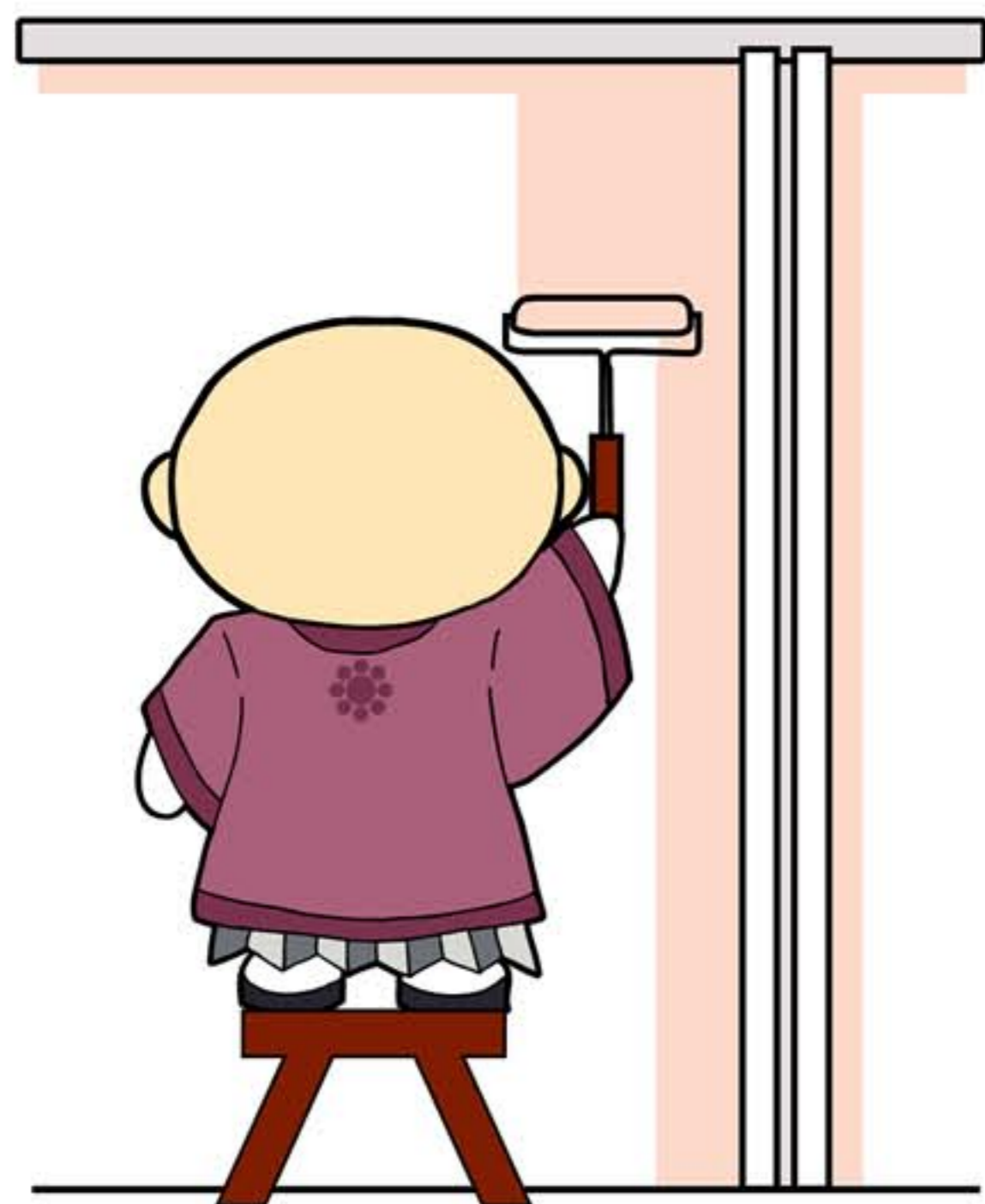
シーラーが乾くまでの間は一休み
(夏場では1~2時間でペンキは乾きますが、湿度が高い降雨時、気温の低い場合は乾きにくくなりますのでご注意ください)

ペンキが手につかなくなったら完了です。



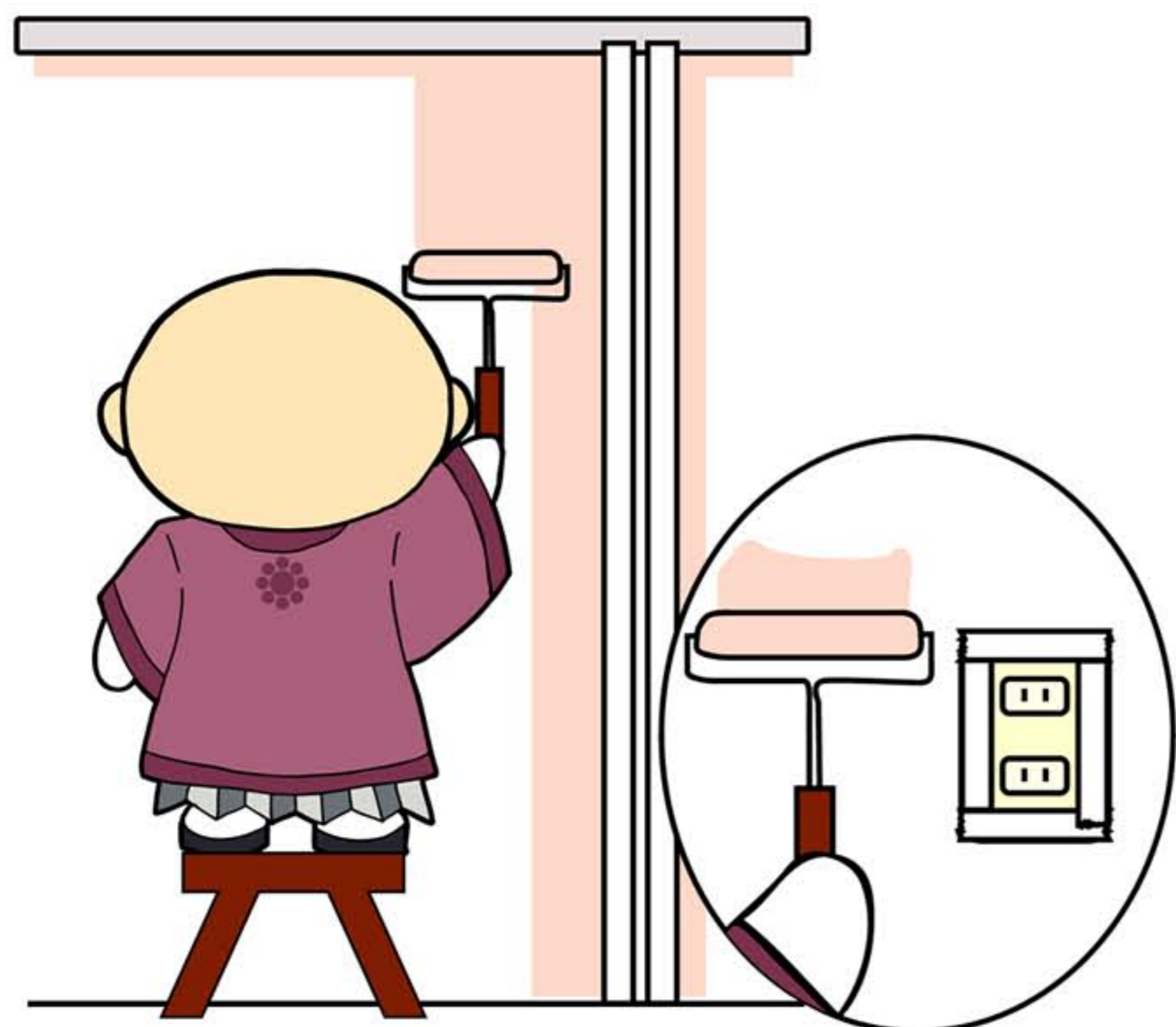
⑨ 1回目の塗装

- ・シェルペイントはよくかき混ぜて使用して下さい。
- ・シェルペイントは厚塗りをしてはいけません。綺麗に塗るコツは「できるだけ薄く伸ばす」です。薄く伸ばしすぎてかすれる感じがするくらいに薄目に塗装しましょう！
そうすればびっくりするくらい綺麗に仕上がります。
- ・薄く塗るためにできるだけローラーを使って塗って下さい。



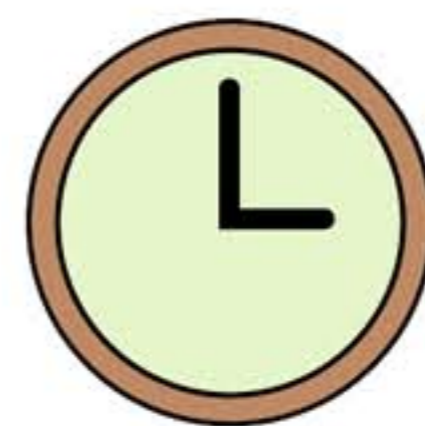
⑩ できるだけローラーを使う

- ・枠周りなどローラーを使いづらい場所は「はけ」で塗っても良いですが、刷毛で塗った後にローラーで伸ばすと綺麗に仕上がります。



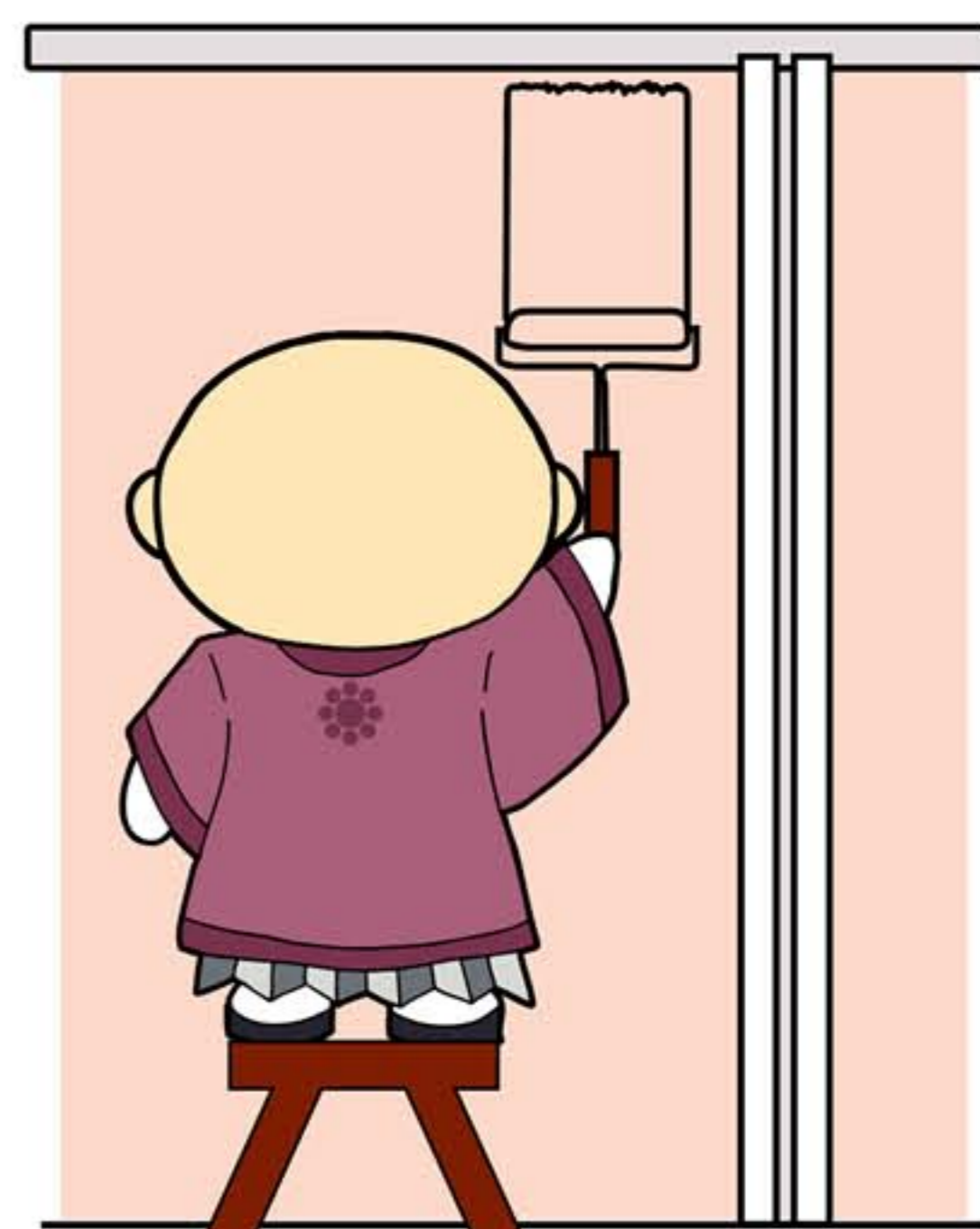
⑪ 一休み

- ・乾くまで一休み手につかなくなったら二回目の塗装に進んで下さい。



⑫ 2回目の塗装

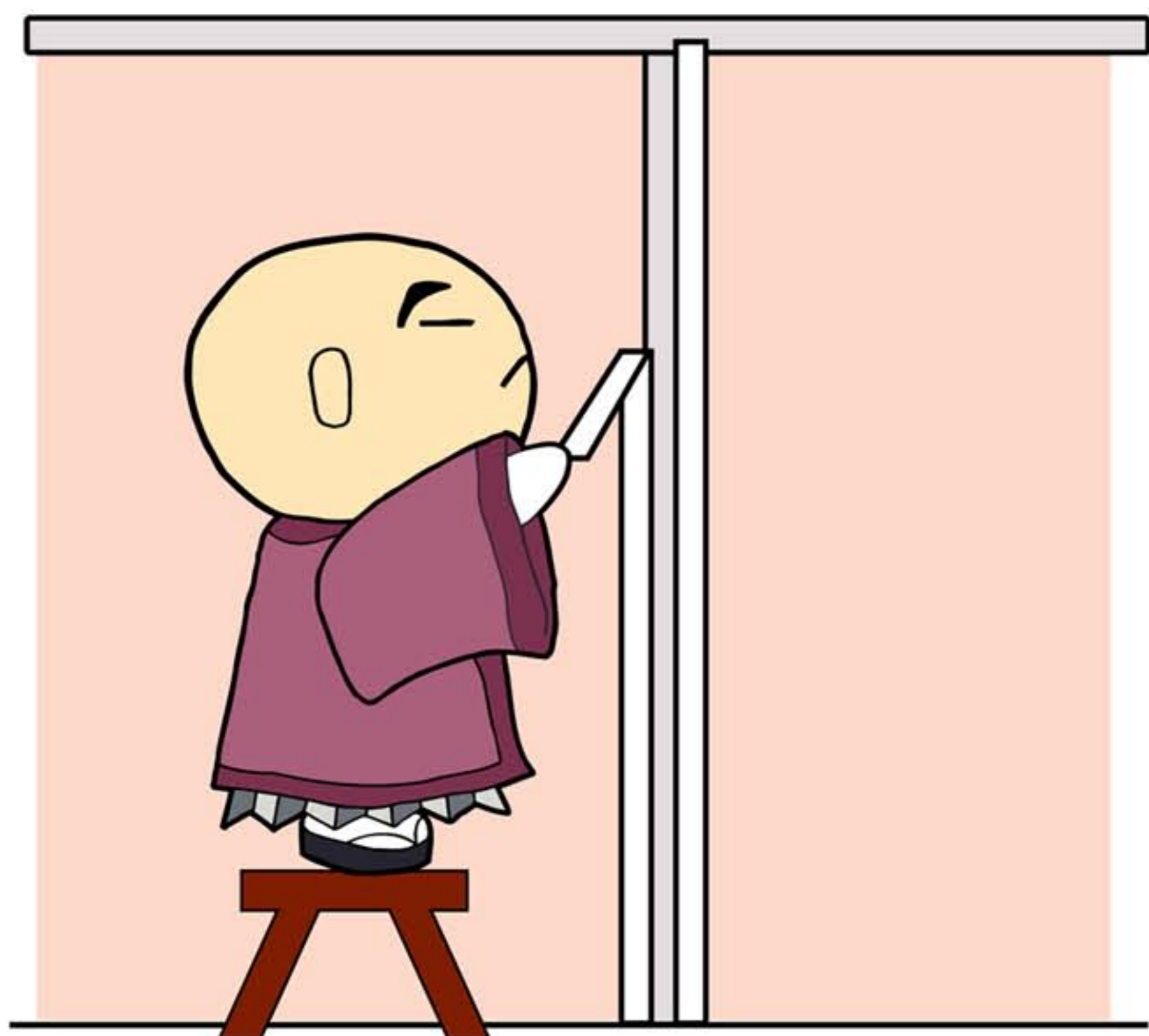
- ・1回目と同じように薄くのぼす事を心がけ、できるだけローラーを使って塗装してください。
- ・シェルペイントは乾いた部分と乾く前の部分で色の濃さが異なります。(乾くと少し薄くなります) そのことに注意して塗り残しや色むらが出ないように注意し塗り重ねて下さい。
- ・2回目の塗装乾燥後も再度、色むらや塗りのこしがないかチェックしましょう！塗り残しがある場合は更に塗り重ねても大丈夫です。



⑬ 養生材を撤去する

・マスカーや布コロナマスカーはゆっくりと丁寧に剥がして下さい。

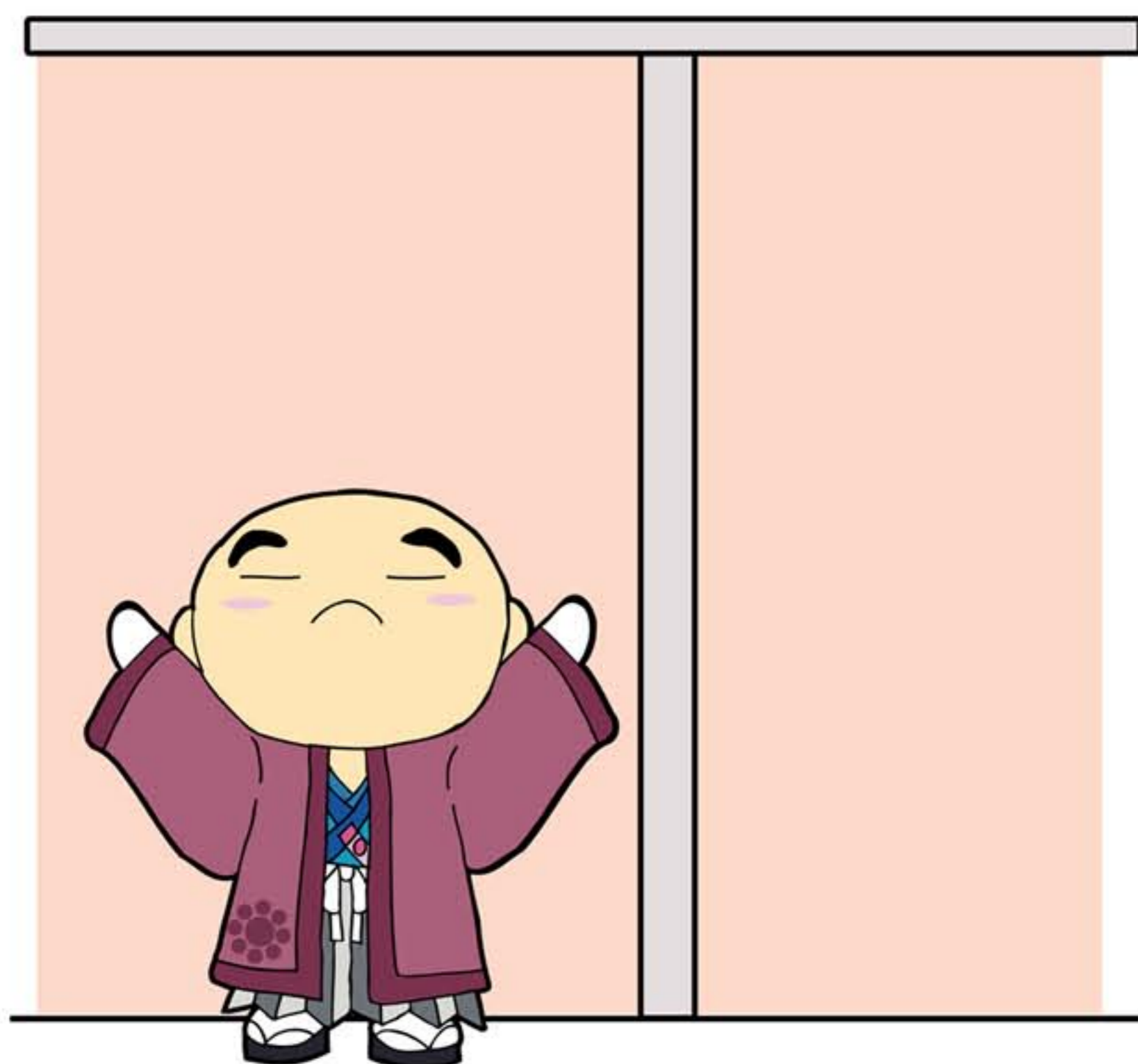
・床やドアの枠などにペンキがついていた場合は、早めに雑巾やスポンジタワシでこすり落としてください。



⑭ 完成

・完成です。余ったシェルペイントはビニール袋に入れて封をすれば長期保管可能です。

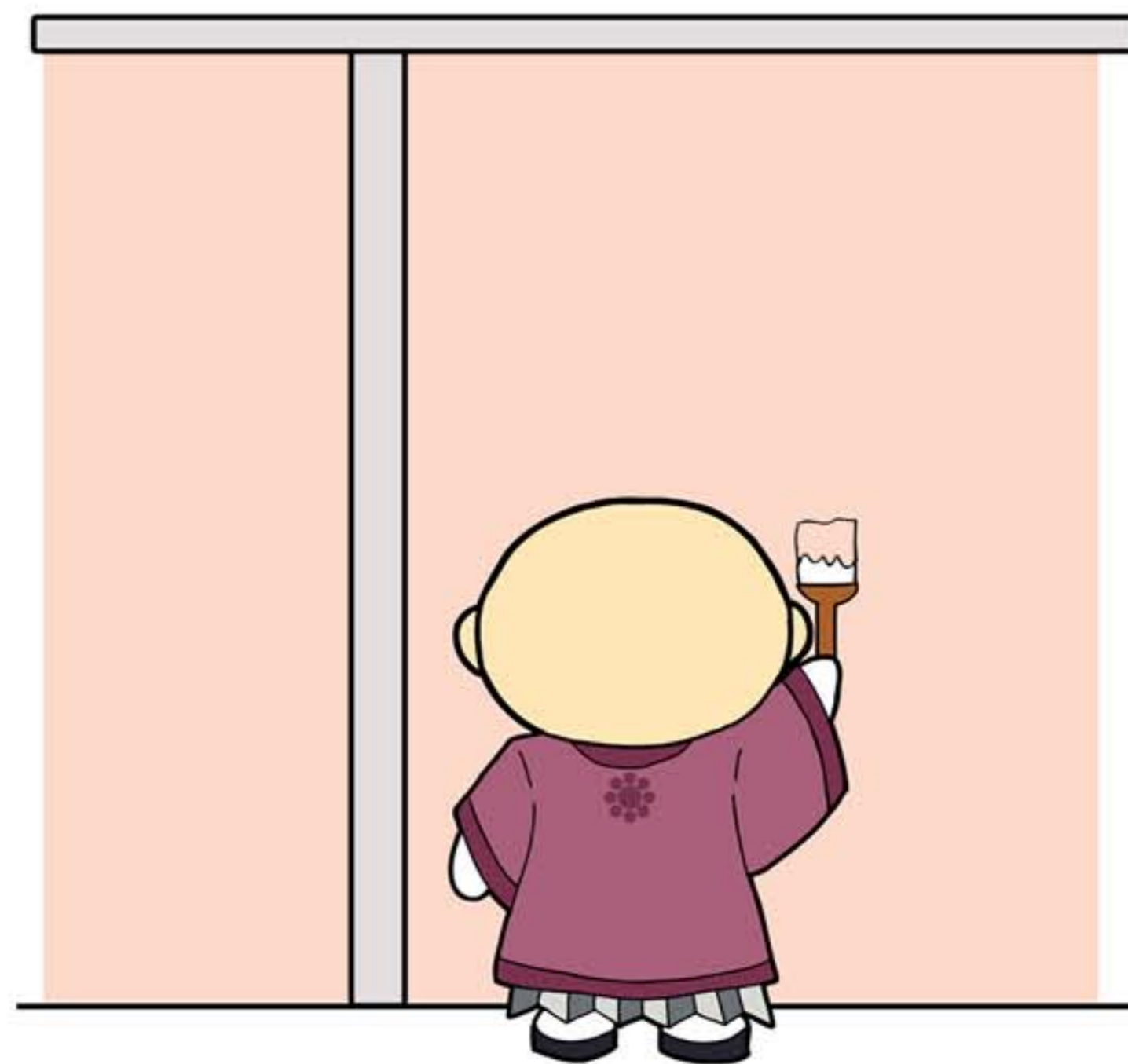
・処分する場合は細かく砕いた新聞紙などで吸い取ってからビニール袋に入れ、お住まいの地域のゴミ処理方法に従って処分して下さい。



⑮ レタッチ

・新しい家の場合、家の骨組みの伸縮作用によって、壁に細かいひび割れが生ずる事があります。細かいひび割れが生じた場合はレタッチを行ってください。

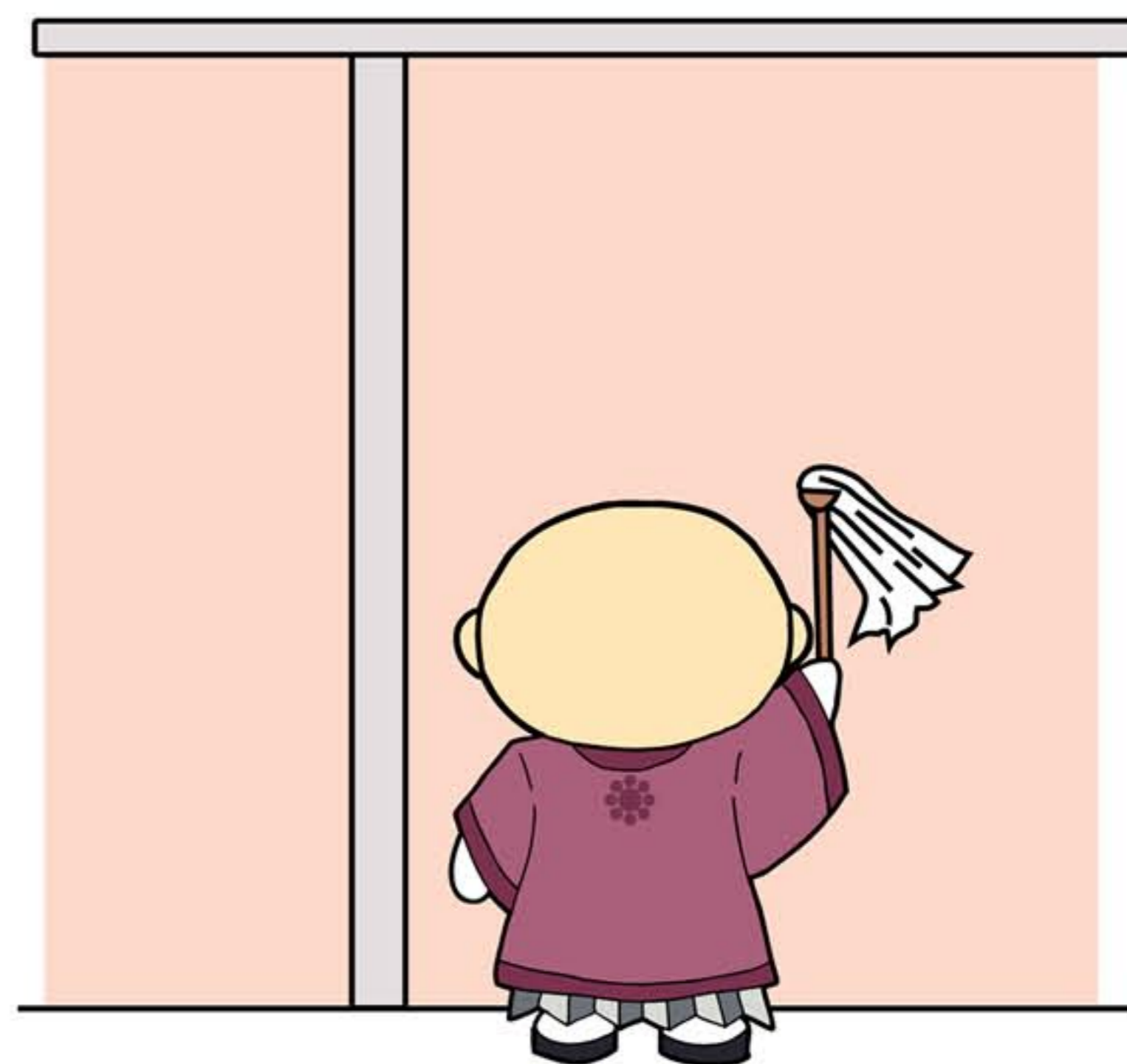
・レタッチはシェルペイントを筆につけぼかすようにひび割れた箇所に薄く塗ります。ペンキが乾けばひび割れは綺麗に無くなります。



※余ったシェルペイントはレタッチ用として小さなプラスチック容器に入れて保管すると良いでしょう。

⑯ 普段のお手入れ

汚れはつきにくい素材ですので日常のお手入れははたきでホコリを落とす程度で十分です。



※壁が古くなれば、シェルペイントを上塗りすれば綺麗になります。シェルペイントの場合、一度塗膜を作ると後の塗装は初回よりも簡単に作業ができます。